

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

学校法人東洋大学（証券コード：－）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的

■格付事由

- (1) 1 大学、3 高校、3 中学、1 幼稚園を展開する学校法人。中核の東洋大学は、東京都文京区、北区、埼玉県川越市、群馬県板倉町の 4 キャンパスに 13 学部 45 学科を構え、学生数は 3 万人を超える。キャンパスや学部・学科の再編を継続的に進めており、21 年 4 月にライフデザイン学部が朝霞キャンパスから赤羽台キャンパスへ移転した。23 年にはライフデザイン学部を改組し 2 学部へ再編、24 年には板倉キャンパスで展開する 2 学部などが朝霞キャンパスへ移転する予定である。
- (2) スピード感のあるキャンパスや教育組織の再編、国際化の取り組みが、受験生などから支持されている。学生獲得力は強く、引き続き、安定した学納金収入を確保できると考えられる。予算管理も的確で、学校法人として比較的余裕のある収支状況を保てよう。中期的に赤羽台および朝霞キャンパスの整備に伴う支出が続く予定だが、支出時期や教育活動による資金収支の見通しを勘案すれば、強固な財務基盤を維持できると想定される。以上により、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- (3) 大学の実志願者数は国内トップクラスである。5 教科・4 教科型入試や英語重視型入試、数学必須入試を拡充し、学力上位層の獲得に注力している。板倉キャンパスの学部では志願者数が減少しているが、すでに朝霞キャンパスなどへの移転を決めており、学生確保に関するリスクは限定的である。赤羽台キャンパスでは新たに 2 学部を設置する改組・再編を進めている。一連の施策で大学の都心部への集約がさらに図られることとなり、中長期的に一定水準の学力を持つ入学生の安定確保、学内外との研究面の連携促進といった効果が期待できる。
- (4) 外部資金や寄付金などの収入源の多様化や強化を図る余地があるが、学納金収入の安定度は高い。また、教育活動支出の約半分を占める人件費は適切に管理され、人件費依存率は他の大規模校と比較し低位で推移している。今後も健全な収支構造が保たれると考えられる。財務体質は良好だが、キャンパス整備工事に伴い運用資産の減少と積立率の低下が見込まれる。基本財産の維持更新に向けた資金の蓄積が中長期的な課題となる。遊休化する板倉キャンパスの利活用による財務基盤への影響は、現時点では限定的と JCR ではみている。

（担当）殿村 成信・佐藤 洋介

■格付対象

発行体：学校法人東洋大学

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年1月7日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「学校法人等の信用格付方法」(2015年4月23日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 学校法人東洋大学
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル